

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-235427

(P2003-235427A)

(43)公開日 平成15年8月26日 (2003.8.26)

(51)Int.Cl'

A 01 M 1/06

識別記号

F I

A 01 M 1/06

マーク*(参考)

2 B 1 2 1

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全3頁)

(21)出願番号 特願2002-44574(P2002-44574)

(22)出願日 平成14年2月21日 (2002.2.21)

(71)出願人 502064036

山城 美智子

神奈川県川崎市麻生区万福寺2丁目11番10
-406号

(72)発明者 山城 美智子

神奈川県川崎市麻生区万福寺2丁目11番10
-406号

(74)代理人 100073128

弁理士 菅原 一郎

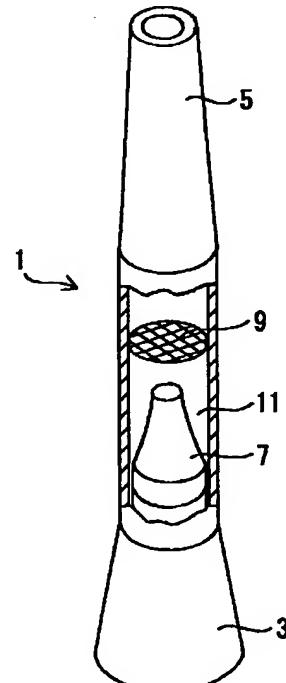
Fターム(参考) 2B121 AA11 AA16 BA38 BA41

(54)【発明の名称】害虫捕獲具

(57)【要約】

【課題】電気掃除機を利用しての害虫捕獲を確実に行うこと。

【解決手段】害虫吸引捕捉のための第1の開口端部3と電気掃除機ホースへの接続のための第2の開口端部5とを具えた実質的に筒状の本体1から害虫捕獲具を構成し、該第2の開口端部は開口に向けて収斂した形状とし、本体内周面には第2の開口端部に向けて大きく収斂する端部を具えた栓筒体7の周縁を取り付け、該栓筒体は少なくとも収斂する端部を弾性材料から形成し、栓筒体と第2の開口端部との間ににおいて有孔盤9の周縁を本体内周面に取り付けて溜室11を限定した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】害虫の吸引捕捉のための第1の開口端部(3)と電気掃除機ホースへの接続のための第2の開口端部(5)とを具えた実質的に筒状の本体(1)を有し、該第2の開口端部は開口に向けて収斂した形状であり、本体内周面には第2の開口端部に向けて大きく収斂する端部を具えた栓筒体(7)の周縁が取り付けられており、該栓筒体は少なくとも収斂する端部が弾性材料から形成されており、栓筒体と第2の開口端部との間ににおいて有孔盤(9)が周縁を本体内周面に固定されて溜室を画定していることを特徴とする害虫捕獲具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は害虫捕獲具に関するものであり、より詳しくは家庭用電気掃除機と組み合わせて用いる使捨て式の害虫捕獲具に関するものである。

【0002】

【従来技術】一般家庭においてゴキブリ、ムカデおよびクモなどの害虫の捕獲に際しては電気掃除機がよく利用され、その吸引力によりホース(先端の粗付け部材は除く)で害虫を吸引捕捉して、掃除機内部のゴミ溜室内に捕獲している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしこのような従来の捕獲方法だと、一旦ゴミ溜室(所謂ゴミパック)内に捕獲した害虫がゴミ溜室から出てきて逃亡してしまうことが多い。またゴミ溜室を掃除機から外した際にも逃亡してしまうことがある。つまり害虫の捕獲が確実に行われないという欠点がある。

【0004】かかる従来の電気掃除機を利用した害虫捕獲方法の欠点に鑑みて、この発明の目的は電気掃除機を利用しての害虫捕獲を確実に行うことにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】このためこの発明においては、害虫吸引捕捉のための第1の開口端部と電気掃除機ホースへの接続のための第2の開口端部とを具えた実質的に筒状の本体から害虫捕獲具を構成し、該第2の開口端部は開口に向けて収斂した形状とし、本体内周面には第2の開口端部に向けて大きく収斂する端部を具えた栓筒体の周縁を取り付け、該栓筒体は少なくとも収斂する端部を弾性材料から形成し、栓筒体と第2の開口端部との間ににおいて有孔盤の周縁を本体内周面に取り付けて溜室を画定したことを要旨とするものである。

【0006】

【作用】第2の開口端部を電気掃除機のホースに接続した状態で、掃除機をオンにして第1の開口端部を害虫に近づけると、害虫は本体内に吸引捕捉される。ついで栓筒体に至ると害虫はその収斂端部を押しのけ変形させて溜室内にはいる。害虫の通過後栓筒体はその弾性により原形に復るので、害虫は溜室から出ることができな

い。溜室が捕捉された害虫で一杯になったら、捕獲具を袋などに入れて廃棄する。勿論捕獲した度毎に廃棄してもよい。

【0007】

【実施例】図1に示すのはこの発明の害虫捕獲具の一実施例である。この捕獲具は全体として実質的に筒状の本体1からなるもので、好ましくはプラスチックなどの透明な材料から形成されている。該本体1は両端部に第1の開口端部3と第2の開口端部5とを有している。

【0008】第1の開口端部3は害虫を吸引捕捉するためのもので、開口に向けて若干収斂する形状として、害虫を捕捉し易いようにするのが望ましい。

【0009】第2の開口端部5は電気掃除機のホースに接続するためのもので、開口に向けて若干収斂する形状として、メーカーによる掃除機ホース口径の違いに対応できる、つまりいかなるメーカーのいかなるタイプの電気掃除機のホースにでも接続できるようにしてある。

【0010】両端部の間ににおいて、本体1の内周面には栓筒体7が周縁において取り付けられている。この取付け態様は固定であっても着脱可能であってもよい。後者の場合は例えば、取り付け部位において本体1の内周面に雌ネジを刻設し、栓筒体7の外周面には雄ネジを形成して、両者を螺合させるようにすればよい。

【0011】この栓筒体7は第2の開口端部5に向けて大きく収斂する形状の端部を有している。つまり端部の口径は通常の害虫の外形形状より小さくなるように設定する。また栓筒体7は少なくとも収斂する端部が弾性材料から形成されており、害虫の通過時には弾性変形により口径を拡大し、害虫の通過後は弾性回復により口径を縮小する。したがって一旦栓筒体7を通過した害虫は、栓筒体7中を通って逆戻りすることができないのである。栓筒体7の全体を弾性材料から形成してもよいことは勿論である。

【0012】栓筒体7と第2の開口端部5との間には有孔盤9がその周縁を本体1の内周面に固定して設けられており、栓筒体7との間に捕捉した害虫の溜室11を画定している。この有孔盤9としては例えば金網などが用いられる。要するに害虫とともに溜室11内に入った空気が掃除機側に吸引されて害虫のみが溜室11内に残るような構造であればよいのである。

【0013】また必要に応じて栓筒体7の収斂する形状の端部に長手方向に延在する切れ目を円周方向に複数個形成して、その変形および復帰を容易にすることもできる。

【0014】

【発明の効果】溜室内に捕捉された害虫が絶対に外に出ることができないので、捕獲が確実となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の害虫捕獲具の一実施例を示す一部切除斜視図である。

(3)

3

特開2003-235427

4

【符号の説明】

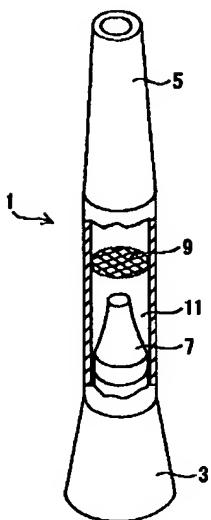
- 1 : 本体
3 : 第1の開口端部
5 : 第2の開口端部

7 : 柱筒体

9 : 有孔盤

11 : 溜室

【図1】



PAT-NO: JP02003235427A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003235427 A
TITLE: NOXIOUS INSECT-CAPTURING DEVICE
PUBN-DATE: August 26, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY
YAMASHIRO, MICHIKO N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
YAMASHIRO MICHIKO N/A

APPL-NO: JP2002044574

APPL-DATE: February 21, 2002

INT-CL (IPC): A01M001/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To perform the capture of noxious insects surely by utilizing a vacuum cleaner.

SOLUTION: This noxious insect-capturing device is constituted by an essentially tubular body 1 equipped with a first opening end part 3 for sucking to catch the noxious insects and a second opening end part 5 for connecting it with a hose of the vacuum cleaner, making the second opening end part have a constricting shape by a large extent toward the opening, mounting the circumferential edge of a plug tube body 7 equipped with an end part constricting toward the second opening end part by a large

extent at the inner circumferential surface of the main body, forming at least the constricting end part of the plug tube body 7 with an elastic material and partitioning a collecting chamber 11 by mounting the circumferential edge of a porous disk 9 between the plug tube body and the second opening end part.

COPYRIGHT: (C) 2003, JPO